



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 マックスバリュ東海 株式会社

コード番号 8198 URL <http://www.mv-tokai.com/company/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神尾 啓治

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 高橋 誠

TEL 055-989-5050

四半期報告書提出予定日 平成26年10月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	103,931	3.1	1,216	30.7	1,256	32.1	424	7.2
26年2月期第2四半期	100,795	—	930	—	951	—	395	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 292百万円 (△40.2%) 26年2月期第2四半期 488百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	23.87	23.82
26年2月期第2四半期	22.26	22.23

(注) 平成26年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	72,275	—	41,124	—	—	56.5
26年2月期	66,533	—	41,460	—	—	61.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 40,825百万円 26年2月期 41,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	36.00	36.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	211,440	4.8	3,570	11.1	3,500	7.7	1,340	△15.0	75.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	17,883,300 株	26年2月期	17,883,300 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	103,128 株	26年2月期	115,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	17,770,918 株	26年2月期2Q	17,765,119 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな企業収益改善の動きがみられるものの、海外での政情不安や、円安の進行による原油・原材料の輸入価格上昇、さらには天候不順等が重なり、景気の先行き不透明感がより一層高まっております。食品スーパーマーケット業界におきましても、生活必需品に対する家計の節約・低価格志向が続いていることに加え、消費増税の反動から、個人消費において一部で弱含みの動きが見られるほか、消費の二極化現象が進行するとともに、コンビニエンスストアやドラッグストアなどの業種・業態を越えた競争も激化しており、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、当連結会計年度のスローガンに「地域密着経営の実践 お客様のために 自ら考え、自らやり遂げよう！」を掲げ、お客さまに「食べるコトの喜び」を提供できる地域No. 1のスーパーマーケットの構築を目指し、環境変化に対応したMD（マーチャンダイジング）の構築、ローコスト経営の実践、地域シェアNo. 1を実現するエリア・業態戦略と収益モデル構築などの経営課題に取り組んでおります。

(国内事業)

店舗展開におきましては、3月及び4月に株式会社グルメシティ関東から2店舗、イオンエブリ株式会社から4店舗の計6店舗を譲り受け開設したことに加え、7月には老朽化したマックスバリュエクスプレス伊豆高原店を閉鎖し、その隣地にマックスバリュ伊豆高原店（静岡県伊東市）を新たに開設したほか、4月のマックスバリュ静岡登呂店（静岡市駿河区）を皮切りとして、5月にマックスバリュ大須賀店（静岡県掛川市）、6月にマックスバリュ相模原西橋本店（相模原市緑区）、7月にはマックスバリュエクスプレス静岡城北店（静岡市葵区）を各々ディスカウント業態であるザ・ビッグに変更しました。また、マックスバリュ熱海店、マックスバリュベルシティ裾野店、マックスバリュ秦野渋沢店などにおいて、テナント再編や直営売場の増床などによる改装を実施しております。これらにより、国内事業における店舗数は、ザ・ビッグ17店舗を含めて133店舗となりました。

販売面におきましては、消費増税後における節約志向の進行に対し、お客さまの利便性向上と固定客づくりを推進するため、小銭いらずで使用できる電子マネーWAONカード拡販キャンペーンを実施しました。当第2四半期連結累計期間において22万枚を超える新規カードを発行し、お客さま感謝デーにおける5%引きのほか、通常ポイントに加え、ボーナスポイント付与企画の拡大を実施するなど、WAONカードを軸とした販促企画の打ち出しを強化してまいりました。また、少子・高齢化の進展による家族構成の変化や、家庭内調理の減少など、お客さまのライフスタイルの変化に対応し、惣菜を始めとして、フローズン（冷凍食品）・レディミール（調理済食品）の品揃えの充実や小容量パックの拡大などにも努めてまいりました。さらに、挽きたて珈琲を提供する「イオンドリップ」を当第2四半期連結累計期間に35店舗（累計56店舗）に導入するなど、サービス機能の充実にも取り組んでまいりました。

(中国事業)

中国事業におきましては、4月にマックスバリュ鉅頓城（Boduncheng）店（中国広東省佛山市）を開設し、2店舗体制となりました。昨年1月に開設した1号店のマックスバリュ太陽新天地店（中国広東省広州市）は、火水曜市の取組みにより来店客数も増加し、売上は順調に推移しており、早期軌道化に向け、2店舗とも更に取り組みを強化しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,039億31百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益12億16百万円（同30.7%増）、経常利益12億56百万円（同32.1%増）、四半期純利益4億24百万円（同7.2%増）となりました。また、個別業績については、営業収益1,031億80百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益14億22百万円（同21.8%増）、経常利益14億56百万円（同22.1%増）、四半期純利益5億44百万円（同7.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比し、57億41百万円増加し、722億75百万円になりました。これは、現金及び預金の増加34億40百万円、商品の増加2億21百万円、土地の増加3億68百万円などによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比し、60億77百万円増加し、311億51百万円になりました。これは、金融機関の休業日による決済日のずれや季節的要因などによる買掛金の増加39億56百万円などによるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比し、3億35百万円減少し、411億24百万円になりました。これは、剰余金の配当による減少6億39百万円、四半期純利益の計上4億24百万円、少数株主持分の減少1億円などによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比し32億93百万円増加し、126億99百万円になりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、58億77百万円(前年同期は54億12百万円の収入)になりました。これは税金等調整前四半期純利益9億71百万円、減価償却費14億85百万円、金融機関の休業日による決済日のずれや季節的要因などによる仕入債務の増加39億66百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、17億46百万円(前年同期は26億69百万円の支出)になりました。これは有形固定資産の取得による支出16億24百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、7億93百万円(前年同期は12億29百万円の支出)になりました。これは、配当金の支払額6億39百万円、長期借入金の返済による支出1億29百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年2月期の通期の業績予想につきましては、2014年4月8日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,043,002	8,483,105
売掛金	50,306	74,544
商品	4,476,722	4,698,096
繰延税金資産	445,659	505,721
関係会社預け金	4,240,000	4,100,000
その他	3,869,608	5,895,147
流動資産合計	18,125,298	23,756,613
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,424,348	18,117,479
土地	13,783,108	14,151,796
その他(純額)	5,453,297	5,541,617
有形固定資産合計	37,660,753	37,810,894
無形固定資産		
のれん	1,078,628	983,358
その他	249,572	215,645
無形固定資産合計	1,328,200	1,199,004
投資その他の資産		
差入保証金	4,788,001	4,811,451
繰延税金資産	3,381,943	3,381,534
その他	1,297,703	1,351,000
貸倒引当金	△47,938	△34,938
投資その他の資産合計	9,419,709	9,509,047
固定資産合計	48,408,664	48,518,946
資産合計	66,533,962	72,275,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,543,347	15,500,226
1年内返済予定の長期借入金	258,796	258,796
未払法人税等	887,034	745,998
賞与引当金	570,821	779,824
役員業績報酬引当金	18,239	8,722
店舗閉鎖損失引当金	6,688	6,522
ポイント引当金	3,086	2,901
その他	4,162,026	6,402,156
流動負債合計	17,450,040	23,705,148
固定負債		
長期借入金	400,280	270,882
退職給付引当金	4,034,669	4,050,933
商品券回収損失引当金	14,380	10,064
資産除去債務	1,342,389	1,385,733
その他	1,832,015	1,728,332
固定負債合計	7,623,735	7,445,945
負債合計	25,073,775	31,151,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,267,850	2,267,850
資本剰余金	3,382,389	3,382,389
利益剰余金	35,421,778	35,204,913
自己株式	△135,386	△121,323
株主資本合計	40,936,631	40,733,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	—
為替換算調整勘定	122,480	91,553
その他の包括利益累計額合計	122,499	91,553
新株予約権	29,080	27,664
少数株主持分	371,975	271,420
純資産合計	41,460,187	41,124,467
負債純資産合計	66,533,962	72,275,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
売上高	99,042,856	101,911,682
売上原価	74,569,012	77,116,663
売上総利益	24,473,843	24,795,018
その他の営業収入	1,752,585	2,020,303
営業総利益	26,226,429	26,815,321
販売費及び一般管理費	25,296,152	25,599,142
営業利益	930,276	1,216,178
営業外収益		
受取利息	18,685	19,528
受取配当金	1,951	14
還付加算金	15,571	—
雑収入	41,258	76,805
営業外収益合計	77,467	96,347
営業外費用		
支払利息	36,004	33,159
支払補償費	—	13,572
雑損失	20,656	9,340
営業外費用合計	56,660	56,072
経常利益	951,083	1,256,453
特別利益		
固定資産売却益	5,039	—
特別利益合計	5,039	—
特別損失		
固定資産除却損	47,806	1,641
減損損失	166,908	275,004
中途解約金	146,978	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,506	8,000
その他	29,619	13
特別損失合計	396,818	284,659
税金等調整前四半期純利益	559,303	971,794
法人税、住民税及び事業税	243,342	687,256
法人税等調整額	△31,214	△59,650
法人税等合計	212,128	627,606
少数株主損益調整前四半期純利益	347,175	344,188
少数株主損失(△)	△48,304	△79,937
四半期純利益	395,479	424,126

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	347,175	344,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,368	△18
為替換算調整勘定	130,435	△51,544
その他の包括利益合計	141,804	△51,563
四半期包括利益	488,980	292,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,196	393,180
少数株主に係る四半期包括利益	△22,216	△100,555

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	559,303	971,794
減価償却費	1,568,760	1,485,460
減損損失	166,908	275,004
のれん償却額	95,176	95,269
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△13,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	181,725	209,168
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△7,935	△9,516
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△23,802	16,264
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	5,506	△165
商品券回収損失引当金の増減額 (△は減少)	△8,063	△4,316
受取利息及び受取配当金	△20,637	△19,542
支払利息	36,004	33,159
固定資産売却損益 (△は益)	△5,039	-
固定資産除却損	47,806	1,641
中途解約金	146,978	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△48,190	△24,237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△279,977	△237,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,681,544	3,966,668
その他	119,094	△45,638
小計	5,215,162	6,700,366
利息及び配当金の受取額	20,350	19,421
利息の支払額	△35,501	△32,868
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	212,055	△809,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,412,066	5,877,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,433,469	△1,624,652
有形固定資産の売却による収入	68,925	-
無形固定資産の取得による支出	△59,655	△9,890
敷金及び保証金の差入による支出	△108,805	△75,795
敷金及び保証金の回収による収入	130,675	135,823
事業譲受による支出	△40,058	△78,086
その他	△227,167	△93,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,669,556	△1,746,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△450,000	-
長期借入金の返済による支出	△129,398	△129,398
リース債務の返済による支出	△24,187	△24,557
自己株式の取得による支出	△258	△348
配当金の支払額	△625,551	△639,654
その他	192	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,229,202	△793,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	114,096	△43,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,627,405	3,293,775
現金及び現金同等物の期首残高	8,990,719	9,405,378
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	402,180	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,020,304	12,699,153

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。